

## 要旨

鹿児島県の北部にある出水市は海と山と平野に恵まれ水も魚も野菜もおいしく大変住みやすい地域である。観光では世界最大のつるの渡来地として全国的にも有名であるが、最近では観光客も減少し、旧商店街も空き店舗が増え、市の財政も赤字で厳しい状況になりつつある。

出水市はつる観光に力をいれているが、実は日本最大とも言われる武家屋敷郡をはじめとして多くの未開発の歴史遺産が存在している。私はこれまでのつる観光と歴史遺産をつなぎ合わせてより魅力的な出水観光の開発と情報発信を行うために、出水駅から武家屋敷、クレインパークをつなぐ「つる歴史街道（サイクリングロード）」構想を産・官・民・NPO等の住民参画により実現することを提案したい。具体的な実現の方法として独自に開発した「3ラウンドカード式住民参画法」により合意形成と実行計画を作成し、4年後の九州新幹線全通までに実現し、魅力ある出水が通過駅にならないよう願っている。

# 「カード式住民参画法」によるまちづくり

## —薩摩出水つる歴史街道構想—

### はじめに

鹿児島県の北部にある出水市は平成 18 年 3 月に高尾野町・野田町と合併し、人口も 57908 人になった。海と山と平野に恵まれ水も魚も野菜もおいしく大変住みやすい地域である。観光では世界最大のつるの渡来地として全国的にも有名であるが、最近では観光客も減少し、旧商店街も空き店舗が増え、市の財政も赤字で厳しい状況になりつつある。

私は昨年、福岡より出水に移住し出水のよりよいまちづくりや観光開発について考え行動してきた。鹿児島まちの駅連絡協議会や道守九州会議等でボランティア活動をしながら、出水市の商工会議所、観光協会に所属しまちづくりについて考えてきた。出水市はつる観光に力をいれているが、実は日本最大とも言われる武家屋敷郡をはじめとして多くの未開発の歴史遺産が存在している。

私はこれまでのつる観光と歴史遺産をつなぎ合わせてより魅力的な出水観光の開発と情報発信を行うために、出水駅から武家屋敷、クレインパークをつなぐ「つる歴史街道」構想を産・官・民・NPO等の住民参画により実現することを提案したい。4年後の九州新幹線全通までに実現し、魅力ある出水が通過駅にならないよう願っている。

### カード式住民参画法

カード式住民参画法とは、KJ法（川喜田二郎法）を応用したもので、地域住民の意見や考えをアンケートやインタビューに基づきカードに記入し、グループ分けをして図解に構造化する方法である。私は30年来、この方法を駆使して地域のまちづくりの支援を行ってきた。全国のまちづくりのワークショップ等でも活用されているが、単なる「分類」図解が多いようである。この方法はグループづくりと表札・見出しづくりが最も大切で、「共通性・類似性」の基準のみでグループ化し（しかも4~5枚が限度）カード内容に忠実かつ具体的に見出しをつけなければならない。そうして初めて、「分類」では出てこない気づきや発見、創造的発想が生まれてくる。この方法を活用することにより、住民全体の意見を鳥瞰し、構造化することができ、全員参画のまちづくりや合意形成が可能となる。基本的手順は以下の通りである。

- ① 住民の意見を自由記述式アンケートやインタビューに基づきカードに文章で記入する（1枚に1文章）
- ② カードをみんなに同じ枚数配り、共通性のあるカードを出し合ってグルー

- プ化する。(グループ化できなかったカードはそのままでよい)
- ③ 3分の2くらいがグループ化できたらみんなで手分けして見出しをつけ、クリップでとめる(具体的な文章でつくる、単語は不可)
  - ④ 残ったカードと見出しのついたカードをみんなに配り、共通性でグループ化し、見出しをつけ輪ゴムでとめる(これを4~5束になるまで繰り返す)
  - ⑤ 束を模造紙の上に配置し、論理的関係を整理し、束をばらして貼り付け、見出しは大きなマジックで転記し、関係線を記入する。
  - ⑥ 最後に日付と参加者名を記入して図解完成である。これをみんなの前で発表し、後日文章化して記録として残す
  - ⑦ この作業を1現状の問題点2解決構想3行動計画と3回繰り返し3枚の図解を作成する

#### 薩摩出水つる歴史街道構想

この方法を活用してこれから私が実現したいと考えているのが「薩摩出水つる歴史街道構想」である。基本コンセプトは「本物志向と手作り観光で自転車と徒歩による回遊性のある遊歩道」である。出水駅新幹線口は幸い、武家屋敷のイメージが再現されている。ここを起点として麓の武家屋敷までの道路を「薩摩街道」として整備する(幸い広瀬橋から本町商店街の通りは旧薩摩街道にあたる)。駅の南は現在市有地で放置されているが、ここに江戸時代の商店街を再現する。あまりお金をかけずに手作りの雰囲気为建设し、テナントは企業だけでなくNPO・個人等幅広く公募する。広瀬橋は欄干や灯笼等の飾りをつけるだけで雰囲気は作れるだろう。本町商店街は空き店舗の活用が検討されているようだが、表だけでも江戸風に作り変えればそのまま武家屋敷へとつながる街道になり活性化に貢献できるだろう。武家屋敷入り口には大きな木の門をつくりアピールする。武家屋敷はすでにある程度整備されているので、町屋風の休憩所をつくるだけで十分である。現在の観光牛車もさらに活かされることになる。ここから薩州島津家の墓をまわり、箱崎八幡神社、特攻碑公園(ここは特攻平和祈念館を建設する)を経てクレインパークに行く。赤字のクレインパークは民間委託するとともに市の観光協会を移し、出水観光の拠点として情報発信に尽力する。またつるの渡来時には往復バスを安い料金で走らせる。最後は「鶴の湯」温泉で疲れをとり出水駅へと戻る。道路の両側は徒歩・サイクリンロードとしてすべてカラー舗装し、案内板を整備し見ただけで回れるようにする。レンタル自転車は台数を増やしどこでも乗り捨て可能とする。(約2時間のコース) 将来的には熊本県境の境橋から野間の関所、高尾野、野田の感応寺、俊寛僧都碑までを薩摩街道として整備し、赤字で苦勞している「肥薩オレンジ鉄道」をデュアルカーにすることにより、より広域的な観光開発が可能になるだろう。

# カード式住民参画法によるまちづくりー薩摩出水つる歴史街道

カード式住民参画法により産・官・民・NPOが連携し地域の活性化をはかる

新出水市のつると歴史・食と温泉をネットワーク化し本物志向の魅力ある観光開発を行う

カード式住民参画法により産・官・民・NPOが連携し地域の活性化をはかる

行政や大企業に依存しない自立した地域の問題を主体的に解決する

カード式住民参画法により産・官・民・NPOが連携し地域の活性化をはかる

住民の意見をアンケートにより積極的に構造化する

九州新幹線全通をめぐりつる観光開発をすすめる

野田・高屋野合併により観光をすすめる

出水はつるだけでなく歴史遺産が眠っている

本物志向と地元主眼による観光開発を行う



## クレインパークを観光の拠点にして「つる・歴史街道」を整備する

クレインパークを観光の拠点にして、「つる・歴史街道」を整備する

クレインパークに市の観光課・観光協会の観光拠点を移す

新幹線沿線の活かし、水戸線敷地を有効活用する

薩武家屋敷・特攻隊墓園・特攻隊公園・特攻隊回廊

クレインパークや歴史資料館等を民間委託しコスト削減と活性化をめざす

徒歩と自転車による観光

遠来の季節にはクレインパークから来る観光客を走らせる

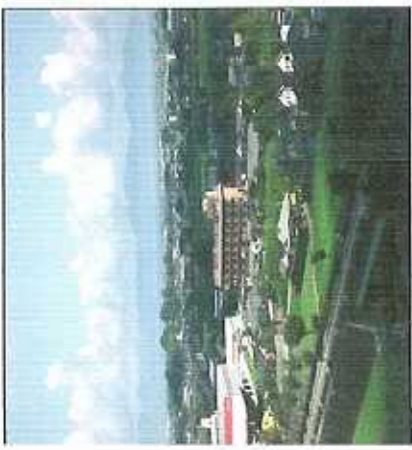
特攻公園に平和記念館を建設する

本町商店街も運動して江戸風にし、公衆生活活性化をはかる

市は安い賃料で県内外から一般公募し、出店を促進する

建物は表だけを江戸風にして安く建てる

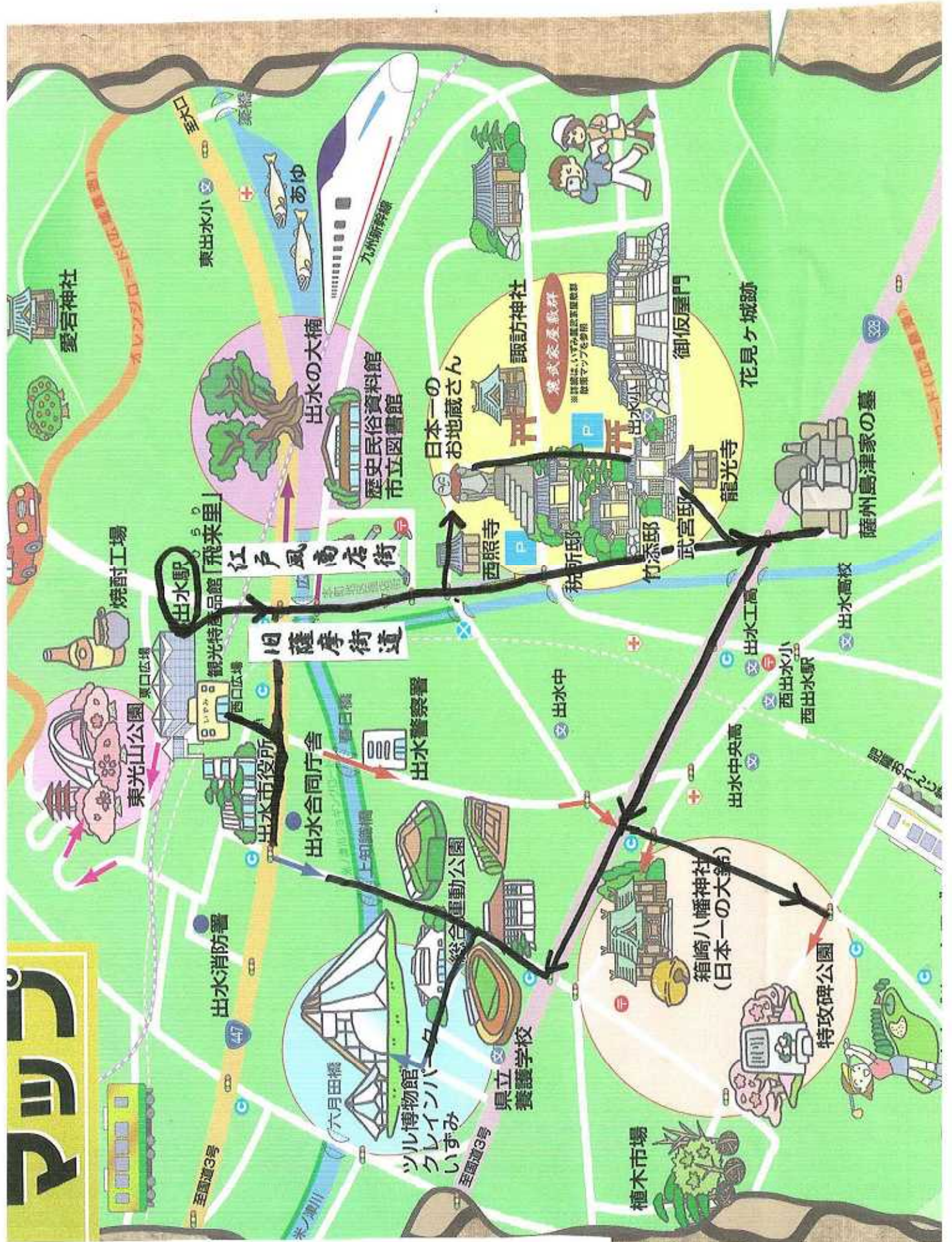
篤姫にちなみながら薩摩街道の整備を行う



赤字の肥薩オレンジ鉄道は観光列車として導入を行う

将来的には、野田・境橋・野間から感応寺(五津家)までの薩摩街道を整備する

作成日: 2007/9/22  
場所: 自宅  
情報源: 鹿野島まちの駅連絡協議会北薩ブロック  
作成者: 権原 宣俊



# 薩摩出水つる歴史街道

第5回夢アイデア応募作品

タイトル：「カード式住民参画法」によるまちづくり - 薩摩出水つる歴史街道構想 -、対象地：鹿児島県、分類：観光振興